

ISO/TC 17/SC 1/WG 12 「鉄鋼」

ISO/TC 155/SC 4/WG 7 「ニッケル合金」

ISO/TC 102/SC 2/WG 30 「鉄鉱石」

②「各国及び国際機関鉄鋼分析委員会」議長会議日時決定 (1991.5.13, 於 Luxemburg)

③ECISS/TC 20 pr EN 10200 (B—吸光光度法) ドキュメント入手 (COCOR にかけるための Voting)

5. TC 67/SC 5 (油井管) 関係

第 1 回 TC 67/SC 5 諮問部会を開催し、下記の結論を得た。

①最初の課題として API Spec 5 CT, 5 D の ISO 化を考える。

②TC 67/SC 5 の中に上記①を前提として Working group の設置は不要と判断する。

③上記 2 規格について、API と ISO の間にて内容の規定のやり方に差があり、問題点の摘出をまず行い、次回諮問部会で討議する。

6. 国際会議 (向こう 3 か月間の予定)

(1) TC 17/SC 19/WG 1 (鋼管の非破壊検査)

1991 年 2 月 20~22 日, ミラノ

注) 2 月 18 日よりデュッセルドルフで行われる予定であった TC 17/SC 4 会議は湾岸情勢を考慮し延期された。

☆☆☆☆☆☆☆☆

会議ダイジェスト**理 事 会****・第 6 回理事会**

開催日: 12 月 18 日

出席者: 森田会長, ほか 33 名

1. 鉄鋼研究振興資金について
2. 日本鉄鋼協会諸規程について
3. 日本学術会議公開講演会共催について
4. 日本学術会議第 15 期会員推選について
5. 鉄鋼工学セミナー小委員会小委員長交替について

編集委員会**・第 10 回和文会誌分科会**

開催日: 1 月 11 日

出席者: 雀部主査, ほか 32 名。

1. 19 件の論文審査報告がなされ, 掲載決定 12 件, 照会後掲載可 5 件, その他 2 件であった。
2. 「鉄と鋼」第 77 年第 5 号 (5 月号) に論文 8 件, 技術報告 3 件, 掲載決定した。
3. 解説等 6 件の依頼を決定した。
4. 平成 2 年の「鉄と鋼」原稿投稿数,

ページ数等の推移を過去 3 年と比較しながら報告した。

平成 2 年は次のとおりであった。

- 1) 論文等投稿数: 221 件
- 2) 論文等掲載数 (ページ): 202 件 (1560 ページ)
- 3) 啓蒙記事掲載数 (ページ): 52 件 (463 ページ)
- 4) その他ページ数: 205 ページ
- 5) 総ページ数: 2228 ページ

・第 5 回講演大会分科会

開催日: 1 月 18 日

出席者: 小野主査, ほか 63 名。

第 121 回 (平成 3 年春季) 講演大会の講演プログラム編成を, 和文会誌分科会, MP 専門委員会の協力を得て行われた。

一般講演 688 件, 討論会 6 テーマ 57 件が, 16 会場に編成された。

研究委員会**・第 3 回研究環境実態調査小委員会**

開催日: 1 月 11 日

出席者: 布村委員長, ほか 4 名。

1. アンケート調査結果により下記項目について討議
- 1) 大学研究環境の実態についてのまとめ方
- 2) 企業における研究環境について
- 3) 研究委員会への中間報告

特定基礎研究会**・第 5 回充填層中の気・固・液移動現象部会**

開催日: 1 月 16, 17 日

出席者: 八木部会長, ほか 21 名。

1. 特基研運営委員会報告
2. 各ワーキンググループ会議報告 WG 世話人から 5 件
3. 大学側委員の研究進捗状況報告 大学側研究委員から 10 件
4. 研究の総合化に関する討議
5. その他 次回および次々回の部会開催スケジュール等について

基礎研究会**・第 5 回ベイナイト調査研究部会**

開催日: 1 月 9 日

出席者: 荒木部会長, ほか 15 名。

1. 依頼講演「亜共析鋼のベイナイト変態」講師 鳥取大学工学部 岡本尚機
2. 英国における関連研究の紹介
3. 中国 HSLA STEELS '90 国際会議における関連事項報告
4. 写真集編集 WG 第 1 回会合報告および今後の予定について
5. ベイナイト的ミクロ組織に関する討議